

中国銀行の取組紹介 (カーボンクレジット関連)

2024年9月10日
株式会社中国銀行
コンサルティング営業部

1. ちゅうぎんグループSDGs宣言

■ ちゅうぎんグループは、「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」というグループ経営理念のもと、事業活動を通じて次の6つの環境・社会課題に取り組んでいくことで「地域社会の発展への貢献」と「企業価値の向上」を目指します。



■ 6つの重点課題（マテリアリティ）

重点課題	主な取組み	関連する目標
地域経済・社会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 金融仲介機能の発揮によるお客さまの課題解決 地域応援活動、ライフプランサポート活動の推進 次世代人財の育成、金融リテラシー向上 	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
少子高齢化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルを通じた適切な資産形成サポート 終身の資産運用・管理ニーズへの対応 資産承継に関する支援 	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域のDX・SX支援 デジタルチャネルによるお客さまの利便性向上 デジタルを活用した業務効率化 	4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も
多様な人財の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティの理解・取組促進 働き方改革の促進 従業員のウェルビーイングややりがいの向上 	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
環境経営の促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域やお取引先への脱炭素化支援 自社の脱炭素化への取組み 環境負荷の低減 	6 安全な水とトイレを世界中に 7 持続可能なエネルギーを 12 つるつる循環 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
ガバナンスの高度化	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制システムの高度化 主体的・自律的コンプライアンスの実践 リスクマネジメントの高度化 	8 働きがいも経済成長も 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう

2. サステナビリティ経営支援メニュー

啓発・必要性理解

取組み状況把握

削減目標/計画策定

ファイナンス支援
実行支援・削減支援

啓発ツール

■ 経営課題ディスカッションシート (ESGフレームワーク)

- ディスカッションを通じて、脱炭素やSDGs等の取組み状況の確認や必要性の共通認識醸成

1

■ ちゅうぎんカーボクレジットクラブ

- J-クレジットのプログラム型による太陽光発電設備の導入推進プロジェクト
- 本プロジェクトで生まれた環境価値の地産地消を進め、地域社会のカーボンニュートラルを目指す

■ ちゅうぎんグリーンワークショップ

- カーボンニュートラルの講義
- カードゲーム「2050カーボンニュートラル」の開催

➢ Cキューブ・コンサルティング

- SX戦略策定、TCFD開示支援 等

取組み支援

■ ちゅうぎんSDGsサポート

- SDGsの取組み状況の整理、見える化

■ ちゅうぎんサステナビリティ経営支援サービス

- マテリアリティの特定、KPIの設定支援
- サステナビリティ経営方針の策定支援

■ ちゅうぎんGXボード

- 温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドツール

■ ちゅうぎんカーボンニュートラルサポート

- CO₂排出量簡易算定支援
- CO₂排出量算定シートの交付

■ ちゅうぎん脱炭素コンサルティング

- 温室効果ガス排出量算定支援
- 排出量削減目標の策定支援
- 中小企業版SBT認証取得支援

■ 省エネ診断 (ビジネスマッチング)

2

■ J-クレジット創出・販売支援業務 (ビジネスマッチング)

3

■ SDGs私募債

- 「地域応援」等のSDGsに関連した特典が受けられる社債

■ ちゅうぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス

- 環境・経済・社会に影響を与えるインパクト(ポジティブ・ネガティブ)を特定し、目標を設定するとともに、モニタリングを通じた伴走支援を実施するローン

■ ちゅうぎんサステナブルローン

- (グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローン)
- サステナビリティに関する目標を設定し、その達成状況に応じて、金利が変動するローン

■ 再エネ・省エネ設備導入 (ビジネスマッチング)

➢ 中銀リース

- 電気自動車の導入 等

➢ ちゅうぎんエナジー

- 太陽光PPA事業 等

サステナビリティ経営支援メニュー

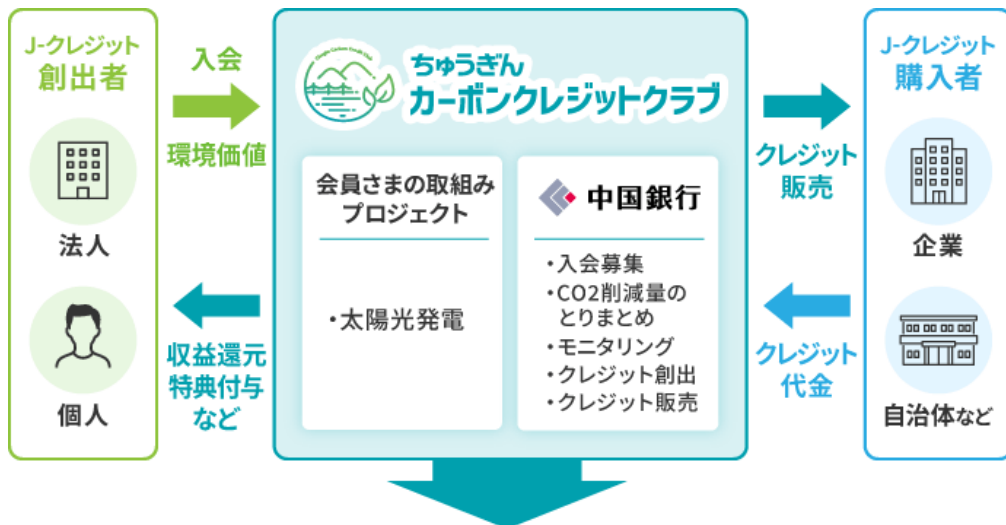
うち脱炭素関連

3 - 1. 「ちゅうぎんカーボンクレジットクラブ」の取組概要

<取組内容>

- 2024年1月より、全国の銀行で初めて太陽光発電によるJ-クレジット運営管理業務を開始。お客さまが導入した自家消費型の太陽光発電設備によるCO₂削減量を当行が取りまとめ、J-クレジットを創出し、J-クレジット売却による収益をお客さまに還元。
- 1家庭や1社単独ではJ-クレジット創出が難しいような小規模な削減活動からでも、J-クレジットを創出を支援するために「プログラム型」を採用。

取組イメージ



地域社会・お客さまのカーボンニュートラルの達成

プロジェクト計画書概要

名称		中国銀行の営業エリア内の一般家庭および全国の事業所における太陽光発電設備の導入によるCO ₂ 排出削減事業
適用する方法論		太陽光発電設備の導入
排出削減計画	排出削減量総量 (年間あたり)	23,948t-CO ₂ (374t-CO ₂)
	入会件数総数 (年間あたり)	6,184件 (773件)

プロジェクト登録証

<経緯>

- 投資家からの関心の高まりによる気候変動関連情報の開示厳格化や2050年カーボンニュートラルに向けた炭素税導入などの議論が進んでおり、脱炭素経営に取り組む必要性（取組まないことによるリスク）が高まっている。
- カーボンニュートラルはCO₂排出削減だけでは実現しない。
- 個人を含めた脱炭素への取組みが評価され、経済的な恩恵を受けることで地域内で新たな取組みが発生するような仕組みづくりが必要。

地域の環境意識向上
参加者の裾野拡大

オフセットの必要性

環境価値の地産地消
(地域内循環)

<目的>

- 太陽光発電設備導入という地域の多数の方が参加しやすい設備導入に着目し、当該環境貢献活動に対し当行が経済価値を付与することで、地域内の環境活動への参加者を増やし、環境活動の気運をより高めることを目指す。

3 - 3. 地域での活動状況・反応

<活動状況>

(法人) 自家消費型の太陽光発電設備を設置するお客さま、当行グループ会社でPPAを導入するお客さまを中心に募集。

(個人) 住宅ローン申込者のうち、太陽光発電設備を設置されているお客さまを中心に募集。

プロジェクトへの入会申込状況		
入会 申込者	岡山県	14件
	広島県	8件
	香川県	3件
	合計	25件
排出削減量 (年間)		205t-CO ₂

(2024年8月末現在)

<地域での入会申込件数>

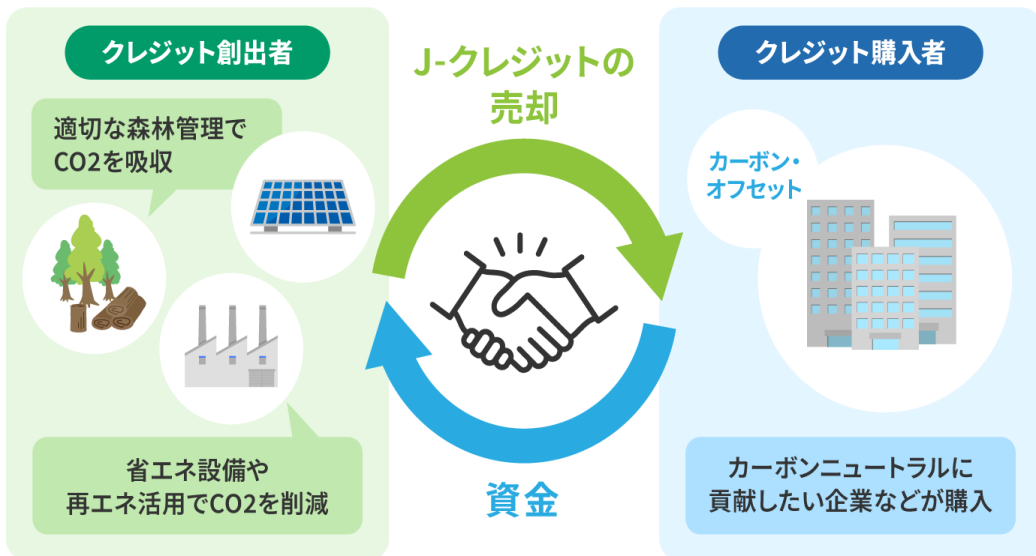


<お客さまの反応等>

- 経費削減を目的に自家消費型の太陽光発電を導入したが、太陽光発電由来の電気を使用することが環境活動につながり、ひいては地域のカーボンニュートラルに役立つ取組みである点を再認識でき、自主的に脱炭素経営を取組む動機づけになった。
- 入会によるインセンティブ（収益還元）をもっと増やして欲しいとの意見もあり、クレジットの価値向上（クレジット販売単価向上）については課題感あり。
- 入会には多くの書類提出が必要であり、入会が伸び悩んでいる要因の一つと認識。

4. カーボンクレジット活用ビジネス

J-クレジットの創出販売支援業務（ビジネスマッチング）



<取組事例 1>

- 鏡野町、作州かがみの森林組合と森林由来のJ-クレジット創出にかかる取組みを開始。認証対象となる森林の面積は、鏡野町と森林組合の合算で約1,340haあり、8年間のCO2吸収量は約55,000t-CO2を見込む。

<取組事例 2>

- 当行営業エリアの各地でJ-クレジットの方法論の一つである「水稻栽培による中干し期間の延長」のセミナーを開催し、遅れている農業分野での脱炭素化を推進。

SDGs私募債



<取組内容>

- 私募債発行企業からいただく手数料の一部を使い、SDGsに取組む団体などへ当行と私募債発行企業の連名で寄附・寄贈を行う私募債。
- 本私募債を活用し、「おかやまの森整備公社」が発行したJ-クレジットの販売支援を行い、私募債発行企業にJ-クレジットを寄贈。
- 販売支援実績 239t-CO₂（2024年8月末現在）

- 本資料は金融ソリューションに関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料はちゅうぎんフィナンシャルグループ各社との取引を前提とするものではありません。
- 本資料に記載されているデータなどは中国銀行が信頼に足り、かつ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、中国銀行はその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。
- 本資料に記載された条件等はいくまでも仮定的なものであり、かかる取引に関するリスクを全て特定・示唆するものではありません。また貴社決算・税務申告あるいは第三者への報告・情報開示の目的等に利用されることを想定したものではありません。
- 投資および取組みの最終決定に際しては、貴社ご自身の判断でなされますよう、また必要に応じ弁護士、会計士、税理士等にご相談のうえでお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。
- 本資料の著作権は中国銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することは禁じます。また銀行の書面による許可なくして再配布することを禁じます。